



奄美大島 地域実習

大阪大学医学部医学科5回生
山野由貴 廣海汐理

奄美群島とは？

- ・ 鹿児島県に属し、奄美大島、喜界島、徳之島、与論島、沖永良部島の5つの島からなる。
- ・ 距離では沖縄本島のほうが近い。
- ・ 高齢化率：29.3%



奄美大島

- ・ 離島の中では佐渡島について2番目に大きい！
- ・ さらに、人口では離島の中で1番多い！

名瀬徳洲会病院



病床数: 255床

県立大島病院に次いで大きい病院

奄美大島に行こうと思った理由

- ・フィジカルを学びたい！
- ・離島医療を体験したい！
- ・大学の先輩が奄美で地域実習をしていらして、自分も奄美大島に行きたくなった！
- ・知らない世界に出てみたい！



実習の準備

1. 堺フィジカルクラブのホームページ
(<http://physicalclub.jimdo.com>)より8月に申し込み



2. 10月に実習日程の決定、航空便の予約

持ち物

白衣、ケーシー、聴診器、参考書、着替え、歯ブラシ、お土産プラス、やる気！！！！

病院からすぐ近くの寮を無料で貸してくれます！

寮の設備：

風呂（シャンプー、リンス、ボディーソープ付）、洗濯機（洗剤あり）、トイレ（トイレトペーパーあり）、キッチン、冷蔵庫、テレビ、寝具など生活には困りません！！

- 病院の周りには、24時間スーパー、マツモトキヨシ、コンビニなどが徒歩圏内にあります。
- また、車も無料で貸してもらえます。

実習日程

	山野	廣海
1/5(月)	11:50奄美空港 空港より送迎 総合内科実習 歓迎会	
1/6(火)~	総合内科実習 1/7(水)当直	
1/12(月・祝)	祝日のため実習お休み 観光	11:50奄美空港着 空港より送迎 観光 歓迎会
1/13(火)~	総合内科実習 1/13(火)喜界島 1/14(水)当直	産婦人科実習
1/19(月)~	産婦人科実習	総合内科実習
1/26(月)~	総合内科実習	総合内科実習 1/26(月)喜界島当直 1/28(水)当直
1/31(土)	12:30奄美空港発	12:30奄美空港発

実習内容

	総合内科(1day)	総合内科(2day)	産婦人科
6:45	Physical Club (木のみ)		
7:45	HCU・病棟回診		
8:15			病棟回診 外来
8:45	医局会 その後朝食(医局にて)		
9:00	外来見学	病棟実習 救急外来	外来見学
12:30	昼食		
13:00	訪問診療	病棟実習 救急外来	産婦人科レクチャー 分娩見学 手術見学
17:00			実習終了
20:00	晩御飯		

総合内科

- Physical club
- 病棟回診
- 外来見学
- 病棟実習
- 救急見学
- 訪問診療
- 喜界徳洲会病院

Physical club

眼底鏡

- 眼底を見るコツを教わりました。おかげで、OSCEのときは見ている振りで全然見れなかったけれど、初めて実際に眼底を見ることができました！

血圧計

- Valsalva手技、奇脈などについても教わりました。やり方は全く知らなかったなので、とても勉強になりました。

心音レクチャー

- 心音について、イメージしやすいように教えてくださいました。「でしゃばりのAM」、「恥ずかしがりやのP」、「Tは」など・・・すごく頭に残りました！

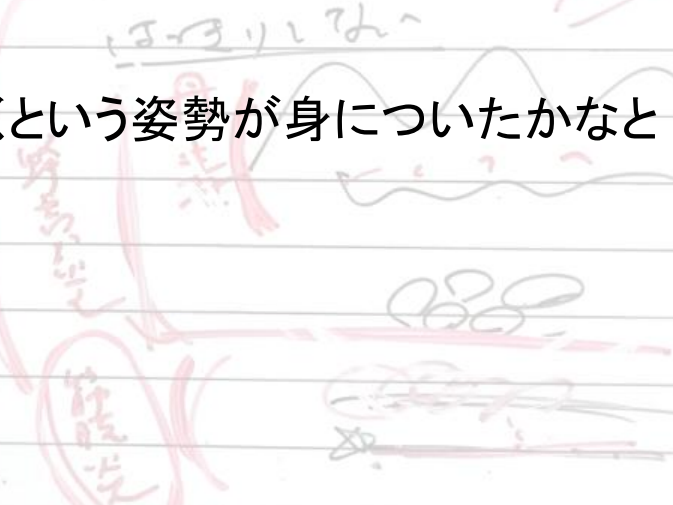
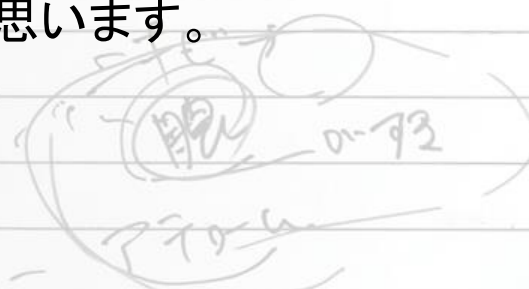
少し朝は早かったけれど、実践的で楽しく勉強できました！！

病棟回診

入院予定表

断り書き

- 平島先生・研修医の先生方と新入院の患者さんを中心に回診しました。
- 時間としては大学病院の回診と違い短いけれど、たくさんフィジカルをとる機会がありました。
- まず、呼吸数と足の末梢冷感チェック！今まで気にしたこともなく、やってもこなかったけれど、これは身体に染みつきました。
- 視診・聴診・触診などに関しても、レクチャーもまぜつつ色々な患者さんを診ました。どの患者さんも大勢で回診に来ても快く受け入れてくれて、とても患者さんに勉強させて頂きました。
- 回診を通して自分から所見を取りに行くという姿勢が身についたかなと思います。



外来見学

- 平島先生の外来について、先生と心音や呼吸音を聴取したりしました。
- 教科書にはのっていない臨床的な知識を教えて下さり、とても勉強になりました。
- 先生が患者さんと楽しげに会話していらっしかったです！こんな風に患者さんと接することができるようになりたいと思いました。
- 外来という限られた時間の中で、どの検査値を重要視するか、どんな検査をするか、薬の量をどうするかなど短時間での対応が重要なことを学びました。

病棟実習

- 研修医の先生方について、入院されている患者さんを毎日診察させて頂きました。心音や呼吸音など身体診察の重要性を学びました。
- 1日中研修医の先生について回らせて頂いたので、普段先生方がどのように日々の診療をしているか、1年半後私達がやらなければいけないことを、実感することができました。
- 大学の実習では基本的に一人の患者さんしか担当しないのと、気が付いたら治療がされているのを電子カルテで眺めているだけだったので、研修医の先生の受け持ち患者さん全員を診察させて頂くのは初めての体験でした。今患者さんのプロブレムは何で、問診で何を聞けばいいのか、どうすればこの患者さんにとって一番いいのか自分で考えることを学びました。

救急見学

- ・救急車で来られた患者さんの問診や、身体所見をとらせていただきました！問診や身体所見からどんな検査をするのか、どんな鑑別疾患が挙げられるか、その後の処置や治療はどうするのかなど、色んなことを瞬時で判断しなければならないことを教わりました。
- ・救急で来られて入院された方のその後も診察させて頂きました。
- ・痰や尿のグラム染色をさせて頂きました。染め方も見方も何も知らなかったけれど、自分で染め、調べ、グラム染色の奥深さを感じました。また、グラム染色の結果からどの抗菌薬を選択するのか勉強しました。奄美に来てグラム染色に関して詳しくなりました。
- ・目の前の患者さんと向き合うことで、課題も明確になり、自分から勉強するようにもなり、たくさんのことを学びました。

訪問診療

- 先生方、看護師さんについて患者さんの家庭を訪問診療させて頂きました！
- バイタルサインをとったり、患者さんの背景を見学させて頂いた。
- 訪問診療の途中に緋寒桜を見たり、たんかんを食べたり、寄り道もしました(笑)



喜界島での実習

- 平島先生について喜界徳洲会病院でも実習させて頂きました。
- 喜界島は病床数104床、外来では開業医の先生が見るような方も全部この病院で診察しているため、とても忙しそうでした。名瀬徳洲会病院よりも更にマンパワー不足が顕著でした。
- 研修医の先生の送別会にも出席させて頂きました。この病院も医師、看護師、コメディカルの方々みんな気さくな方であたたかさが身に染みしました。
- 喜界島から帰る直前も先生の往診についていかせて頂きました。患者さんと先生、看護師さんの信頼関係を間近で見ることが出来ました。

産婦人科実習

- ・外来見学 & 病棟回診
- ・分娩見学
- ・産婦人科レクチャー
- ・手術見学



外来見学&病棟回診

- 産婦人科の小田切先生について外来を見学させて頂きました。
- 妊婦検診や婦人科疾患、がん検診、不妊治療の方などが来られました。経膈エコーの見学もしました。
- 実際に胎児エコーをさせて頂き、CPD, BPD, FLや羊水ポケットの出し方を学びました！胎児の推定体重を出せるようになりました！
- 胎児エコーから先天性奇形など、出産前にスクリーニングするには、どういうところをみればいいのかを学びました。
- 病棟の切迫早産の患者さん方はとても仲良くて、こんな病棟は初めて見たので驚きました。
- お母さんと赤ちゃんが退院する際には、姿が見えなくなるまで見送ったり、産後検診の際には写真と助産師さんのメッセージカードを渡したりと、おもてなしの心が尽くされていました。

分娩見学

- ・ 陣痛室、分娩室は安心してお産ができるような照明が施されていたり、出産後の乾杯サービスなど、いたるところに産婦人科のスタッフの方々のおもてなしの心が伝わってきました！
- ・ 助産師の方にも分娩介助の仕方など教わりました。助産師さんが妊婦さんにずっと付き添って、安心させ、励ましているのをそばで見ることができ、助産師の方々の偉大さを感じました。助産師の方々にすごく支えられて、奄美の産科医療は成り立っていると思いました。
- ・ 新しい命が誕生する、すばらしい空間を共有させて頂き、とても感動しました。本当に分娩を見学させて頂いた妊婦さんには感謝の気持ちでいっぱいです。

産婦人科レクチャー

- 離島の産婦人科医療の実態についてレクチャーしていただきました。奄美群島の中でも産婦人科医がいない島もあるそうです。名瀬徳洲会病院も産婦人科医は1名で、新生児診療をしている小児科医もいないので、難しい症例は県立大島病院や鹿児島本土に送らなければいけません。お母さん、赤ちゃんの状態を見て適切な時期に送るためにも、離島での産婦人科医の役割は重要だと思いました。
- また、赤ちゃんの取り上げ方を模型を使って練習しました。先生も汗だくになりながら、一生懸命教えてくれました。
- 急変時でも医療スタッフ間でうまく連携できるように急変時のシミュレーションをしたり、代わりの先生が来た時でも上手く対応できるように訓練をしていっしょりました。離島でどうすれば最善の医療を施すことができるか考える機会になりました。

ノンアルコール
です。

手術見学

- 帝王切開の手術を3件見学しました。
- 麻酔をかけるところから、赤ちゃんを取り出して、手術終了に至るまで全体を通してみる事ができました。思っていた以上に早くて、びっくりしました。
- また、取り出した赤ちゃんに対する処置も、先生や助産師の方に教えてもらいました。新生児の蘇生アルゴリズムを頭に入れて、手術見学に臨んだつもりでしたが、思い出しているうちに30秒、60秒と経っていて、勉強不足を痛感しました。

観光！

- ・奄美は食べ物にも自然にも恵まれており、実習がお休みの日はダイビングやパラセーリング、きよら玉作り、大島紬の染物、マングローブ原生林をカヌーで間近に見たり、クロウサギを見ることができたりと奄美大島をいっぱい満喫しました！
- ・晩御飯は研修医の先生方に連れて行っていただき、いろんな美味しいものを頂きました！



ダイビング



研修医の先生とご飯 絶品！！



学んだことのまとめ

- ・フィジカルのおもしろさ
- ・離島医療の厳しさ、責任の重さ、役割
- ・島の方々のあたたかさ
- ・病気を見るのではなく患者さんを診るということ
- ・医療はおもてなしの精神が大事だということ

**情熱をもった先生方と出会い、一人一人の患者さんと向き合い、たくさんのことを学んだ1カ月でした！
奄美に行って本当によかったです！！**

謝辞

名瀬徳洲会病院

松浦甲彰先生

平島修先生

小田切幸平先生

野田朋宏先生

瀬尾博美先生

原真由美先生

福田靖子先生

船木裕先生

牧主さんをはじめ事務の方々